

# 報告

## 第22回 北海道医療対策協議会

副会長 藤原 秀俊

本協議会は、医育大学、行政機関および関係28機関からの委員47名で構成され、北海道における地域医療の充実・確保に向け、医師派遣を巡る諸課題への対応策について検討・協議を行う場として、平成16年度に設置された。会長は高橋知事である。平成18年度には課題ごとに三分科会が設置され、具体的な取組の検討が進められている。

第22回協議会は、3月29日(木)午後3時30分から札幌市内で開催され、高橋知事の挨拶の後、二分科会の座長からこれまでの検討・協議等について報告がなされ、その後、意見交換が行われた。



### 医師派遣(紹介)連絡調整分科会報告

浜田座長(美瑛町長)から報告があった。

#### ①平成29年度における調整状況について

合計47医療機関125名の派遣依頼に対し、27医療機関43名(新規派遣調整分の12医療機関16名、継続派遣調整分の14医療機関17名、その他の派遣調整分として10医療機関10名)の医師を確保。

#### ②平成30年度に向けた調整状況について

51医療機関134名の要望に対し、現在まで25医療機関41名の調整を行い、残る26医療機関93名について引き続き調整を行う。

#### ③北海道における医師確保対策の実施状況について

平成30年2月末現在、常勤医師は地域医療支援センター派遣等で96名確保し、短期勤務医師は地域医療振興財団のドクターバンク登録医師の派遣などで延べ7,996日の医師派遣を実施。

### 地域医療を担う医師養成検討分科会報告

北座長(奈井江町長)から報告があった。

#### ①北海道医療計画(医師確保に関する事項)の策定について

平成30年度からスタートする新たな「北海道医療計画」の策定に当たり、本分科会において医師確保に関して厚生労働省から示された指針に基づき、協議を進め、記載事項を取りまとめた。

#### ②地域枠制度の運営状況について

平成30年度の配置先については、札幌医大卒業で

合計24名(卒後:5年目2名、4年目12名、3年目10名)、旭川医大卒業で合計18名(卒後:4年目6名、3年目12名)、合わせて42名である。また全道21の二次医療圏域中13圏域に配置し、産婦人科を含む12診療科に配置されることとなっている。

### 新たな北海道医療計画の策定等について

北海道保健福祉部より、平成30年度から35年度を計画期間とする新たな「北海道医療計画」の概要について説明が行われた。

### 北海道専門医制度連絡協議会について

北海道保健福祉部より、新専門医制度の開始に対応するため、従来の「北海道専門医制度連絡協議会」を「専門医制度等検討分科会(仮称)」(専門医制度等に関する検討委員会(仮称)を含む)に改め、本医療対策協議会の中に設置することの報告が行われた。



長瀬会長からは、「医師の数も徐々に増えつつあるが、診療科偏在などまだまだ取り組まなければならない問題がある。医師派遣については、三医育機関からは非常に多くの協力をいただいております、感謝申し上げます。新たな専門医制度についても皆で協力して対応していきたい。」との発言があった。

高橋知事からは、「しっかりと医師の養成・確保対策を行い、道民の皆様方が安心して、住み慣れた場所で生活を続けていただけるよう取り組んでいきたい。」との発言があった。



協議会の様子